





## 【テキストの修正】すべてがわかる世界遺産1500(中巻) 世界遺産検定1級公式テキスト

\* 下の表の「HP掲載日」が、書籍の奥付にある増刷日より前のものは、修正が反映されています。

修正後		修正前	HP掲載日
◆ P.007 - 大韓民国 9・10行目			
・9行目 ㉓ 濟州火山島と溶岩洞窟群 P217	←	・9行目 ㉓ 昌徳宮 P109	2024年6月26日
・10行目 ㉔ 昌徳宮 P109		・10行目 ㉔ 濟州火山島と溶岩洞窟群 P217	
◆ P.008 - タジキスタン共和国 6行目			
ティグロヴァヤ・バルカ自然保護区のツガイ森林群	←	ティグロヴァヤ・バルカ自然保護区のタゲイ森林群	2024年6月26日
◆ P.012 - チャド共和国 2行目			
エネディ山塊:自然的・文化的景観	←	エネディ山塊	2024年3月26日
◆ P.012 - トーゴ共和国及びベナン共和国 クタマク:パタマリバ人の土地 マーカー			
 (複数の国にまたがる文化遺産のマーク)	←	 (文化遺産のマーク)	2024年6月26日
◆ P.033 - バット、アル・フトウム、アル・アインの考古遺跡 9行目			
ウンム・アン・ナール後期(前2200～前2200年頃)	←	ウンム・アン・ナール後期(前2200～2200年頃)	2024年3月26日
◆ P.047 - 古代都市サーマッラー 1段落3行目・2段落3行目			
・1段落3行目 当時のアッバース朝は中央アジアから北アフリカまでを版図に収め、	←	・1段落3行目 当時のアッバース朝は中央アジアから北アメリカまでを版図に収め、	2024年6月26日
・2段落3行目 (アル・ムタワッキルのモスク(サーマッラーの大モスク))である。		・2段落3行目 (アル・ムタワッキルのモスク(サーマッラーの大モスク))であ。	
◆ P.050 - シーギリヤの古代都市 7行目			
モッガラーナ	←	モッガッラーナ	2024年6月26日
◆ P.054 - ハンピの都市遺跡 7行目			
巨大なゴープラ(塔門)		巨大なゴープラム(塔門)	2024年6月26日
◆ P.067 - 泉州:宋・元時代の中国における世界的な商業の中心地 表「開元寺」1行目			
7世紀に築かれた寺院		10世紀に築かれた寺院	2024年6月26日
◆ P.067 - 泉州:宋・元時代の中国における世界的な商業の中心地 表「石湖埠頭」2行目			
1068年には水上の要塞や橋、道路などが築かれた		1068年には水上の要塞や橋道路などが築かれた	2024年6月26日
◆ P.089 - 鼓浪嶼(コロンス島):歴史的共同租界 9行目			
「*」を削除	←	アモイ・デコ様式*	2024年5月1日
◆ P.122 - ネムルト・ダーの巨大墳墓 欄外「コンマゲネ王国」			
前162年に独立後、後72年にローマ帝国に併合された。	←	前162年に独立後、72年にローマ帝国に併合された。	2024年6月26日

◆ P.129 - エルサレムの旧市街とその城壁群 4段落2行目			
約1km四方の城壁に囲まれた旧市街には、	←	旧市街は、オスマン帝国時代に築かれた約1km四方の城壁に囲まれ、	2024年6月26日
◆ P.172 - ギョベクリ・テペ 3段落3行目			
(ヒョウなど)が攻撃的な姿を示している姿や、クモなどの節足動物、ヘビ、ハゲワシなど	←	(ヒョウなど)が攻撃的な姿を示している姿や、ヘビやクモなどの節足動物、ヘビ、ハゲワシなど	2024年6月26日
◆ P.200 - 泰山 2段落1行目			
泰山の「泰」は、古くは「太」であったとされ、	←	泰山の「泰」は、古くは「大」であったとされ、	2024年3月26日
◆ P.201 - 泰山 2段落目・写真キャプション			
・2段落目 また、山中には989種の植物が生育しており、中には「漢柏」「唐槐」と呼ばれる漢代や唐代に植えられた古木も存在する。雄大な自然と、数千年にわたる中国の信仰・文化が生み出した人文景観が調和した泰山は、文化遺産のすべての登録基準と、自然遺産の登録基準(vii)が認められ、複合遺産として世界遺産に登録された。  ・写真キャプション 岩一面に金剛般若経が刻まれている経石峪	←	・2段落目 登山道の途中の崖には、般若経や詩などが刻まれている。泰山は多くの文人墨客が訪れ、中国最古の詩集『詩経』をはじめとする文学作品にその景観が詠まれた。また、赤松、黒松などの針葉樹をはじめ、1,136種もの植物が見られる自然豊かな場所であり、景観美に優れているとして、自然遺産の価値も認められている。  ・写真キャプション 岩一面に金剛般若経が刻まれている	2024年6月26日
◆ P.205 - イラク南部のアフワル:生物多様性の保護地域とメソポタミアの都市の残存景観 2段落4行目			
(前4000)～前3000年にかけて、	←	(前4000)～3000年にかけて、	2024年6月26日
◆ P.212 - 三清山国立公園 9行目			
また三清山は葛洪が訪れて以来、道教の聖地となっている。	←	また三清山は約400年前に葛洪が訪れて以来、道教の聖地となっている。	2024年6月26日
◆ P.218 - ロレンツ国立公園 画像・キャプション			
	←		2024年7月2日
ブンチャック・ジャヤ山周辺		変化に富む地形と植生が見られる	
◆ P.222 - 西ガーツ山脈 4段落目			
世界遺産には、生物圏保存地域に登録されているニルギリ生物圏保存地域の他、ナガルホーレ国立公園や	←	また、生物圏保存地域に登録されているニルギリ生物圏保存地域を含んでいる。ここはインドで登録されており、ナガルホーレ国立公園や	2024年6月26日
◆ P.225 - ヒルカニアの森林群 2段落9行目			
(ソウゲンワシやコキジバト)といった	←	(ソウゲンワシやコキジバト)といった	2024年6月26日
◆ P.236 - ティグローヴァヤ・バルカ自然保護区のツガイ森林群 遺産名・1行目			
ティグローヴァヤ・バルカ自然保護区のツガイ森林群	←	ティグローヴァヤ・バルカ自然保護区のツガイ森林	2024年6月26日
◆ P.255 - カルタゴの考古遺跡 2段落9行目			
廃墟となった土地を鋤(すき)でならして塩をまく	←	廃墟となった土地を鋤すきでならして塩をまく	2024年6月26日

◆ P.272 - カイロの歴史地区 1段落2行目			
旧市街、新市街からなる。	←	旧市街、新市街などからなる。	2024年6月26日
◆ P.278 - シダーデ・ヴェーリャ、リベイラ・グランデの歴史地区 9行目			
リベイラ・グランデ	←	リベリラ・グランデ	2024年6月26日
◆ P.305 - アンブヒマンガの丘の王領地 2行目			
この丘の名は「青く美しい丘」を意味し	←	この丘の名「青く美しい丘」を意味し	2024年6月26日
◆ P.305 - ミジケンダ諸族のカヤ聖域森林 3行目			
柵には石壁と木のドアが設置された。	←	柵には石壁と木のドアを設置された。	2024年6月26日
◆ P.322 - メ溪谷自然保護区 8行目			
1966年に保護区に指定された。	←	1996年に保護区に指定された。	2024年4月15日
◆ P.325 - ヴィクトリアの滝(モシ・オ・トゥニャ) 2段落4行目			
現在見られる滝は8つ目である。	←	現在は見られる滝は8つ目である。	2024年6月26日
◆ P.328 - サンガ川流域 - 三カ国を流れる大河 4行目			
約7,500km <sup>2</sup> が登録されている。	←	約7,500km <sup>2</sup> がコアエリアとなる。	2024年6月26日
◆ P.346 - ホープウェルの儀礼的土壘群 3段落14行目			
(円の直径(321m)はホープウェル文化における標準寸法の倍数として地域全体で使用されていたと考えられている。	←	(円の直径(321m)はホープウェル文化における標準寸法の倍数として地域全体で使用されており、研究者の間でOCDと呼ばれている。	2024年6月26日
◆ P.365 - アリカ・イ・パリナコータ州におけるチンチョーロ文化の集落と人工ミイラ製造技術 1行目			
チリ北部、アンデス山脈と大平洋の間に広がるアタカマ砂漠は	←	チリ北部、アンデス山脈と大西洋の間に広がるアタカマ砂漠は	2024年4月15日
◆ P.369 - チチェン・イツァの古代都市 1段落3行目			
旧チチェンに残るのは、スペイン語でカタツムリを意味するカラコル。らせん階段を持つ円形の塔で、	←	旧チチェンに残る、スペイン語でカタツムリを意味するカラコル。らせん階段を持つこの円形の塔は、	2024年6月26日
◆ P.381 - サカテカスの歴史地区 小見出し			
整然とたたずむ「バラ色の街」	←	スペインがつくった最初期の植民都市	2024年6月26日
◆ P.398 - ヴァロンゴ埠頭の考古遺跡 3行目			
埠頭はいくつかの層に分かれており、最下層にはヴァロンゴ埠頭のオリジナルの姿であるペ・ド・モレク様式の舗装がなされている。	←	埠頭はいくつかの層に分かれており、最古の層はペ・ド・モレク様式の舗装がなされている。奴隷制廃止後の1843年にはブラジル帝国第2代のドン・ペドロ2世の妻を迎えるため、「皇后の埠頭」が建設された。	2024年6月26日

<p>◆ P.411 - パラナ川沿いのイエズス会布教施設群:ラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナとヘスス・デ・タバランゲ 1段落4行目・2段落目・欄外注釈</p>			
<p>・1段落4行目 30カ所のレドゥクシオン*</p> <p>・2段落目 1706年に築かれたラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナには、イタリア出身の建築家ファン・パウティスタ・プリモリの設計による石造りの教会や、学校、回廊、墓地、先住民の住居跡、庭園などが残り、<b>キリスト教とグアラニ人の芸術要素が融合した装飾</b>も見られる。ヘスス・デ・タバランゲは別の場所で築かれたレドゥクシオンが移築されたもの。未完の教会や隣接する学校、広場跡の他、孤児や未亡人のための家コティ・グアスなどがあった。同時期に一带で建てられたイエズス会の布教施設群で唯一見られる三葉型のアーチは、ムデハル様式の影響と考えられる。</p> <p>・欄外注釈 30カ所のレドゥクシオン:パラグアイに8カ所、アルゼンチンに15カ所、ブラジルに7カ所。アルゼンチンとブラジルに築かれたレドゥクシオンの遺構の一部は「グアラニのイエズス会布教施設群」(p.410)として世界遺産に登録されている。</p>		<p>・1段落4行目 30カ所のレドゥクシオン</p> <p>・2段落目 最古の歴史を持つサン・コスメ・イ・ダミアンでは学校や墓地、住居、日時計などの遺構が残る。タバランゲには、広場を中心に建物が建設される教化集落特有の市街地がある。約4,000人が暮らしたとされるラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナは、最も熱心に伝道に取り組んだ場所で、パラナ川流域の伝道の中心地であった。イエズス会の建築家ファン・パウティスタ・プリモリの設計したラ・サンティシマ・トリニダ聖堂は、1706年に築かれ、キリスト教の聖堂建築とグアラニ人の装飾芸術が融合したものとなっている。</p>	2024年6月26日
<p>◆ P.421 - ESMA 博物館と記憶の場:拘禁と拷問、虐殺のかつての機密拠点 登録基準</p>			
<p>(vi)</p>	←	(iv)	2024年6月26日
<p>◆ P.432 - ビニャーレス溪谷 2行目・6行目以降</p>			
<p>・2行目 キューバ西部に位置するビニャーレス溪谷は、葉巻で有名なキューバのブランドにとって重要なタバコの葉の供給地で、伝統的な農業と美しい自然が共存するカルスト地形のくぼ地である。</p> <p>・6行目以降 また、複雑な地形のため植民地時代には奴隷が、独立戦争の時代には革命家が身を隠す場所としてこの地が利用された。</p>	←	<p>・2行目 キューバ西部に位置するビニャーレス溪谷は、葉巻で有名なキューバのブランドにとって重要なタバコの葉の供給地となっている。</p> <p>・6行目以降 また、植民地時代には奴隷が、独立戦争の時代には革命家が身を隠す場所としてこの地が利用された。開拓当時のコーヒー農園の農業形態を残す場所は世界でもここしかなく、往時の農業技術を伝える貴重な遺構となっている。</p>	2024年6月26日
<p>◆ P.445 - ヨセミテ国立公園 3段落6行目</p>			
<p>現在は、土日祝日やハイシーズンのピーク時間帯に車両で入園する場合は事前予約が必要となる他、持ち込む荷物の量も制限されている。</p>	←	現在は、園内への自転車やバイクの乗り入れは禁止され、持ち込む荷物の量も制限されている。	2024年7月11日
<p>◆ P.453 - ブラジル沖の大西洋の島々:フェルナンド・デ・ノローニャとロカス環礁の保護区群 地図</p>			
 <p>ブラジル沖の大西洋の島々</p> <p>ボリビア ブラジル</p>	←	 <p>セラ・ダ・カピバラ国立公園</p> <p>ボリビア ブラジル</p>	2024年6月26日
<p>◆ P.461 - ジョギンズの化石断崖群 4行目</p>			
<p>ヒロノムス</p>	←	ヒロノマス	2024年3月26日
<p>◆ P.473 - セラード自然保護地域群:ヴェアデイロス平原国立公園とエマス国立公園 9行目</p>			
<p>オオアクリイの餌場となっている。</p>	←	オオアクリイの餌場になっている。	2024年3月26日

◆ P.476 - ロス・カティオス国立公園 5行目			
伐採による森林環境の悪化から、	←	伐採による森林環境悪化から、	2024年6月26日
◆ P.477 - サウス・イースト大西洋沿岸森林保護区群 3行目			
マングローブ林が生い茂る沿岸まで	←	マングローブ林が生い茂る広がる沿岸まで	2024年6月26日
◆ P.480 - カリフォルニア湾の島々と自然保護区群 1段落3行目・3段落1行目			
・1段落3行目 9つの保護区がある。総面積は約1万8,370km <sup>2</sup> に及び、  ・3段落1行目 湾内には、世界中に存在する海生哺乳類の約4割が生息しており、	←	・1段落3行目 9つの保護区があり、総面積は約1万8,370km <sup>2</sup> に及ぶ。  ・3段落1行目 湾内には、世界中に存在する海生哺乳類の約4割が湾内に生息しており、	2024年6月26日
◆ P.481 - レビジャヒヘッド群島 5行目			
(一帯では、陸海問わず豊かな生態系)が育まれている。	←	(一帯では、陸海問わず豊かな生態系)を育まれている。	2024年6月26日
◆ P.490 - INDEX 「て」			
ティグローヴァヤ・バルカ自然保護区のツガイ森林群	←	ティグローヴァヤ・バルカ自然保護区のタゲイ森林群	2024年6月26日
		最終更新日	2024年7月11日